

自助・共助・公助の適切な組合せについて考えよう

年組番号前

公民科 Work 1 次の医療費領収書と給与明細書を見て、()を埋めて、社会保険の給付と負担について確認しよう。

(1)給付の例【医療費領収書】

領収書

氏名
損保 太郎 様

発行日 令和 5 年 2 月 10 日

保 険	初・再診料	医学管理等	在宅医療	検 査	画像診断	投 薬
	200 点	700 点	点	点	点	200 点
	注 射	処 置	リハビリテーション			
	点	点	点	点	点	点

保 険 外 負 担	選定医療等	その他		保 険	保険外負担
		円	合 計	1,100 点	円
	(内訳)	(内訳)	負 担 額	3,300 円	円
			領収額合計	3,300 円	

※上記「領収書」はサンプルであり、実際の診療報酬点数や金額とは異なります。

【医療費領収書を見ると、以下のことがわかる】

診療報酬点数＝合計 ① () 点。1点につき10円なので、医療サービスに ② () 円かかっている。ただし、自己負担割合が3割なので、③ () 円の3割(10円未満は四捨五入)の ④ () 円が支払う金額(自己負担)となる。
自己負担しない残りの7割にあたる ⑤ () 円は保険者(健康保険事業の運営主体)から医療機関に支払われる。

(2)負担の例【給与明細書】

給与明細書

〇〇株式会社
2022 年 11 月分

社員番号：1234567
氏名： 損保 太郎

勤 怠	出勤日数	欠勤日数	有給日数	時間外労働時間	
	21	1	1	10	

支 給	基本給	職務手当	通勤手当	時間外手当	家族手当	資格手当	総支給額
	200,000		10,000	15,000			225,000

控 除	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	介護保険	所得税	住民税	控除合計額
	9,500	20,000	1,100		4,200	9,500	44,300
	差引支給額						180,700

※上記「給与明細書」はサンプルであり、実際の金額とは異なります。

【給与明細書を見ると、以下のことがわかる】

社会保険料＝ 健康保険 + 厚生年金保険 + 雇用保険 + 介護保険
＝ ① () + ② () + ③ () + ④ () = ⑤ () 円
国 税 ＝所得税＝ ⑥ () 円
地方税 ＝住民税＝ ⑦ () 円

- 公民科

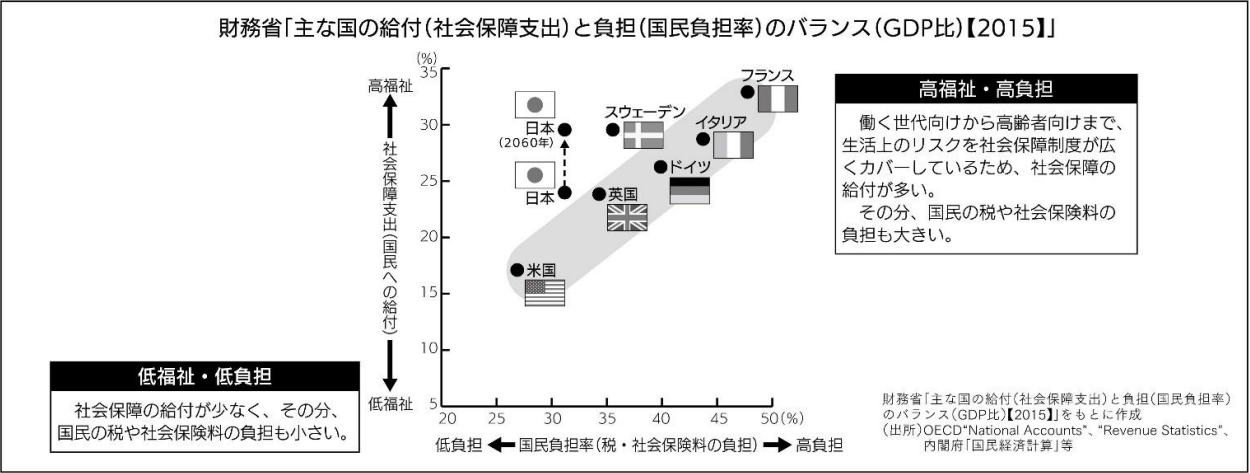
Work 2
- P8～9、P11～12をもとに、社会保険と民間保険の違いを確認し、文章の()を埋めよう。
- (1) 社会保険は、原則、加入が(①)で、(②)などの公的機関が運営している。保険料だけでなく、(③)も財源のひとつ。基本的に、人々の生きる権利を(④)するものだが、「自然災害で家が倒壊」「自動車事故で車が大破」など、対応できない(⑤)もある。

(2) 民間保険は(⑥)加入で、取り扱っているのは(⑦)の保険会社。加入者からの保険料をもとに(⑧)を支払う。(⑨)でカバーできない部分を補うことができる。

公民科

Work 3

P8～10、12および下記の資料をもとに、A～Fの文章が日本、スウェーデン、アメリカのどの国に当てはまるか、表内に入れてみよう。



	スウェーデン	日 本	アメリカ
考え方	個人では対応が難しい病気や加齢、貧困に対する支援を、政府がおこなうという共助・公助を重視した考え方。	自助・共助・公助のいずれかに極端に偏ることなく、それぞれのバランスを取りながら制度を維持するという考え方。	健康で働くことができる場合は、自分の生活は自分の力で維持するべきという自助を重視した考え方。
利 点	()	()	()
課 題	()	()	()

利点	A 税・社会保障等の負担が極端に高くならないよう設計することが可能である。	B 社会保障サービスが充実する。	C 自らの人生設計に応じて必要な民間保険を選択できる。自助努力を中心にすれば、社会保障制度の持続可能性は高くなる。
課題	D 民間保険に加入できない、または民間保険の保険料を払えない人たちが生活に困り、結果的に生活保護等の公的扶助の支出が増える恐れがある。	E 社会保障の給付が高齢化に伴い増加しているものの、国民負担率が低いため、社会保障制度の持続可能性が課題である。	F 社会保障制度を持続可能なものにするためには、国民が相応の税金や保険料を負担する必要がある。

公民科

Think

自助・共助・公助にはそれぞれ役割があります。あなたはどれが大切だと思いますか？それぞれの優先順位を考えよう。

第 1 位

第 2 位

第 3 位

その理由